

ジャガイモ

令和6年 4月25日

「芋洗い①～入学式編～」

校長 江口 満



私は、「芋洗い」が教育の原点だと思っています。この「芋洗い」は、様々な活動の中にあります。そして本校は、日々の学習活動をはじめ様々な活動(芋洗い)を用意しています。生徒の皆さんは、学習や学校行事などの場面で、お互い真剣に、全力でぶつかり合って活動する。お互いに磨き合ってぴかぴかの芋(人間)になる。このことを、私は「ジャガイモの精神」と呼んでいます。

また本校は、開校して19年目となります。来年の本校創立20周年に向け、私たちに何ができ、私たちは何をするのか。新入生を迎え、私たちは新たな「感動」を求めて、その第一歩を踏み出します。

4月に入り、私は、校区内を歩いてみました。すると、咲き誇る桜並木に圧倒されました。そして、その花々の背景には、皿倉山から花尾山、帆柱山へと続く山並みが堂々と横たわり、桜前線が駆け上がっています。この山並みは、私たちの「心の原風景」であるような気がします。

そのような中、ご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、仰星学園高等学校第19回入学式を執り行いました。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。本日より、大切なお子様を仰星学園高等学校の生徒としてお預かりすることとなりました。お子様の進路実現向け、本校職員総力を結集して、教育に当たって参ります。また、保護者の皆様との連携、信頼関係が何よりも大切です。

より質の高い教育環境を構築するためには、学校・家庭が一体となってそれぞれの果たすべき役割と責務を自覚し、行動していくことが求められています。これからの本校教育活動に対し、特段のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。いよいよ皆さんの高校生活が始まります。(次頁へ)



4月6日(土)第19回入学式【上】新入生の入場の様子
【下】徳重光理事長が自らアレンジされた演台花を背景に式辞を述べる学校長。この生け花は本校の伝統です。



新入生代表誓いの言葉で、「私たちは今日から仰星学園高等学校の生徒として高校生活の第一歩を踏み出します。これからのことを思うと不安や心配もあります。しかし、中学校とは違う新しい環境の中でどんな仲間と出会い、どんな学校生活が待っているのかと思うと、あふれるばかりの夢と希望で胸がいっぱいです。学校生活に慣れるまでは色々困惑することもあると思います。そんな時は先生方からアドバイスをいただきながら、あせらず一歩一歩進んでいこうと思います。勉強はもちろん、部活動や生徒会活動、そしてたくさんの友達との出逢いの中で、

それぞれがやりたいことを見つけ、それに向かって進んでいきます。先生方、先輩方、そして保護者の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。私たち新入生は、ここ仰星学園高等学校で勉学に励むとともに、努力を怠らず、様々な活動に積極的に取り組むことを誓います。」と宣言する新入生代表 園田桜月(枝光台中学校出身)さん。



新入生代表から誓いの言葉を受け取る学校長

さて私は、入学式の時期になると、「芋洗い」の話
を思い出します。

私が「芋洗い」と出逢ったのは、私が大学4年生
の時、教育実習を終えた夏休みの時期でした。友人
から、「子ども達との4泊5日の合宿に、スタッフと
して参加しないか？」と誘われたのです。当時、「ど
のような先生を目指したらよいのか。」と、教育実習
で迷っていた時期でもありました。だから、子ども
達と一緒に活動できるということで、喜んで参加し
ました。その合宿のタイトルが、「芋塾」だったので
す。会場は、広島県の山奥の、すでに廃校になった



入学式。担任紹介の様子

小学校。ヒグラシの鳴き声や、濃厚な自然の香りを今
でも覚えています。

県内の各地から参加した小学生や中学生。1班約10
名にグループ分けされ、その班の担任になりました。こ
の「芋塾」の精神こそが、「芋洗い」だったのです。

【次号に続く】



1 A 学級開きの様子



1 B 学級開きの様子



1 D 学級開きの様子



1 C 学級開きの様子



4月10日(水) 新入生オリエンテーション最終日の様子
(本校新館4階ビーナスホールにて)

